

長崎県五島市沖における協議会（第5回）

○日時

令和5年12月15日（金）14時00分～15時30分

○場所

五島市立図書館多目的室

※一部の構成員等はWEB会議形式にて参加

○参加者

- ・ 経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー課風力政策室
石井室長
- ・ 国土交通省港湾局海洋・環境課海洋利用調査センター
榊原所長
- ・ 長崎県産業労働部 井内次長
- ・ 農林水産省水産庁漁港漁場整備部計画課 森田計画官
- ・ 五島市 野口市長
- ・ 五島ふくえ漁業協同組合 片山代表理事組合長
（代理：五島ふくえ漁業協同組合 餌網代参事）
- ・ 五島漁業協同組合 草野代表理事組合長
- ・ 奈留町漁業協同組合 大久保代表理事組合長
- ・ 長崎県旋網漁業協同組合 柳村専務理事
- ・ 長崎県旅客船協会 木口副会長（欠席）
- ・ NTTワールドエンジニアリングマリン株式会社
田島担当課長
- ・ 長崎総合科学大学 池上特命教授
- ・ 東京海洋大学 松山名誉教授
- ・ 五島フローティングウィンドファーム合同会社
戸田建設株式会社 牛上職務執行者
- ・ 環境省大臣官房環境影響評価課環境影響審査室
鈴木室長補佐（※）
（※オブザーバー）

○議題

(1) 運転開始時期について

- 五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社より資料3について説明。

東京海洋大学

- 運転開始時期が2年延期となった要因である浮体の不具合について、原因は全て判明し、不具合は改善されるので、2026年1月には運転が開始されるとの理解でよろしいか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- ご認識の通り。
- 原因究明を行い、浮体の認証を受けている ClassNK(日本海事協会)とも相談しながら、製造方法の一部の変更を行い、作業を進めている。
- 浮体の陸揚げ、解体、再構築などが必要であり、作業期間を要することになり、その期間を2年と設定し変更認定をいただいている。

長崎総合科学大学(座長)

- 設置済みの浮体3基の内、1基を陸揚げし、検証を行っているところか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- まだ陸揚げはできておらず、陸揚げに向けて作業しているところである。

長崎総合科学大学(座長)

- 残る浮体2基の取扱いについての見通しを教えてください。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 初めに浮体1基(1号機)を陸揚げし、健全性を検証していくことになるが、陸揚げ作業自体も初めて行う作業であり、慎重に行う必要があり、1基の陸揚げ、構造の検証を行った上で、その結果により、残る浮体2基の取扱いを決めていく。

長崎総合科学大学(座長)

- 運転開始の延期期間の２年は最長であり、残る浮体２基の問題がなければ、延期期間は短縮されることとなるのか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- ご認識の通り。
- 当社としても、可能な限り早急に運転を開始したく、今後、工程を見直す可能性もあり、その際は改めて報告させていただく。

長崎総合科学大学（座長）

- 特段の意見が無いため、運転開始時期が現時点では最長２年延期されるところについて、関係者の皆様に了承いただいたものとして、進めさせていただく。

（２）漁業影響調査の手法等について

- 五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社より資料４について説明。

長崎総合科学大学（座長）

- 漁業影響調査について、具体の調査手法については現在検討中であるのか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 資料に記載の方法により調査を行っていく予定であり、既に一部調査については調査を開始している。

東京海洋大学

- 漁業影響調査の方法について、専門家からいただいた意見・助言の主な内容が示されているが、専門家でないと考えが至らないような内容も示されている。
- 漁業調査の方法に示されている、試験操業やデータの収集整理などの具体的な方法に関して専門家から意見・助言もいただいているのか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 調査内容を定めた段階で、一度意見・助言をいただいている状況で

あり、今後も、調査結果などに基づき、引き続き意見・助言をいただきながら進めていく。

東京海洋大学

- 漁業影響調査においては、今後も専門家の知見を活かしていくことが望ましい。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 承知した。

長崎総合科学大学（座長）

- 漁業影響調査などの環境配慮事項への対応については、開始された段階であり、後から不足が生じないように、専門家の意見・助言もいただきながら、慎重に進めていただきたい。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 承知した。

東京海洋大学

- 漁獲量動向を調査する試験操業について、漁獲量は日々変動するなど変動が大きいものであり、年2回（1回あたり4隻（2漁法×2漁協））の調査で十分であるのか、検討が必要と考えており、専門家に相談しながら検討いただきたい。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 試験操業の内容は漁業組合と相談を行いながら定めたものであり、現時点では、先ずは調査を始めてみるとの考えで定めたものである。
- 内容については、今後見直していく可能性もあり、専門家とも相談しながら、引き続き、ブラッシュアップを図っていく。
- 漁業組合からも、今後ともにご意見・ご指導をいただきたい。

長崎総合科学大学（座長）

- データの収集整理（漁協提供）について、漁協により集計区分や対象魚種など収集データが異なっている理由を教えてください。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 事業地だけでなく、事業地周辺も対象とするとの考えに基づき、集計区分を漁協支所及び事業地周辺と定めて、当該区分のデータを提供いただくこととしている。

長崎総合科学大学（座長）

- データが揃い始めた段階で整理結果の報告をいただきたい。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 承知した。
- 漁業から提供いただくデータの收集整理は初めての取組であり、どのような整理ができるかも含め、報告させていただく。

長崎総合科学大学（座長）

- 環境配慮事項への対応は開始された段階であり、今後の協議会において、調査結果や収集データなどを基にした協議を行っていくものと考えている。
- 本日の段階では、今後どのような対応を行っていくのか、計画が示されたものとして、進めさせていただく。

（３）基金の透明性確保等について

- 五島市より資料５について説明。

長崎総合科学大学（座長）

- 運転開始時期の延期が基金の設立に影響するものと想定していたが、説明により、影響が無いとのことを理解した。
- 基金の規模について教えていただくことは可能であるのか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社 戸田建設株式会社

- 事業に関わる事項であるため、金額の開示についてはご容赦いただきたい。

長崎総合科学大学（座長）

- 承知した。

五島漁業協同組合

- 基金の使途について、既に五島市と協議を進めている。
- 市側でも積極的に検討を進めていただいております、漁協としても使いやすい基金の運用をお願いしている状況。

長崎総合科学大学（座長）

- 今後、風車の運転が開始されていくこととなり、基金の使途についても関係者が望む形となるようによりしくお願いする。

（４）まとめ

長崎総合科学大学（座長）

- 各説明内容について、特段異議は無いものと見受けられ、運転開始時期の延期はあるが、順調に検討、対応も進められている状況であり、説明の内容に基づき、引き続き検討、対応を進めていただきたい。

国土交通省（事務局）

- 今後の協議会の進め方について、協議会は、事業の進捗等を確認するために少なくとも年１回は開催することとしている。
- 次回の協議会については、今回と同様に、五島フローティングウィンドファームから工事の進捗状況や漁業影響調査手法、五島市からは基金条例等の検討状況を報告いただくこと主な議題として、開催したいと考えている。
- 具体的な時期については改めて調整させていただきたく、よりしくお願いする。

以上